

浜松医療センター内科専門医研修プログラム (浜松医療センター)

1 はじめに

浜松医療センター内科専門医研修プログラムは1)市中病院として症例数が豊富、2)基幹病院での2年間の研修、3)大学病院とは独立した診療科、という特徴のあるプログラムを作成しました。全国から浜松へ、そして皆さんと一緒に充実した内科領域の専門研修ができるようにと考えています。



プログラム統括責任者 浜松医療センター 臨床研修管理センター 重野 一幸

2 目的

本プログラムは、急性期病院である浜松医療センターを基幹施設として、近隣医療圏にある連携施設・関連大学とで内科専門研修を経て静岡県西部の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練され、基本的臨床能力獲得後は必要に応じた可塑性のある内科専門医として静岡県全域を支える内科専門医の育成を行います。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

浜松医療センター

(2) 専門研修連携施設

浜松医科大学医学部附属病院

JA 静岡厚生連 遠州病院

市立湖西病院

4 専攻医受入数

5名

5 研修期間

3年間（基幹施設2年間＋連携施設1年間）

6 研修計画（例）

研修	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目 (基幹施設)	循環器内科			消化器内科			呼吸器内科			腎臓内科		
	総合内科初診外来(週1回)・当直(2-3回/月)											
2年目 (基幹施設)	血液内科、内分泌・代謝内科、神経内科、リウマチ科、感染症内科を1~2科を平行して研修											
	総合内科初診外来(週1回)・当直(2-3回/月)											
3年目	連携施設での研修 (JA厚生連遠州病院 市立湖西病院 浜松医科大学病院※)											

JAMECC: 1~2年目に受講
CPC 医療倫理・医療安全・感染防御に関する講習会への参加

ローテーションについて:

- 1年次は、循環器・消化器・呼吸器・腎臓をそれぞれ3ヶ月間の研修を行う
 - 2年次は、血液、内分泌・代謝、神経、リウマチ、感染症のうち1~2科を平行して研修する(2~3ヶ月でローテーション)。各診療科のローテーションの順序はプログラム管理委員会が決定する。
 - 3年次は、専攻医の希望を優先しながら連携施設にてサブスペシャリティ領域、必要な疾患群の研修を行う。
- ※ 3年次にサブスペシャリティ研修(浜松医科大学病院)を選択した専攻医は、地域医療密着型病院での研修を6か月間行う。

基幹施設である浜松医療センターで、専門研修（専攻医）1年目、2年目に2年間の専門研修を行います。

専攻医2年目の秋に専攻医の希望・将来像、研修達成度およびメディカルスタッフによる360度評価（内科専門研修評価）などを基に、専門研修（専攻医）3年目の研修施設を調整し決定します。病歴提出を終える専門研修（専攻医）3年目の1年間、原則1か所の連携施設で研修をします（図1）。なお、研修達成度によってはサブスペシャリティ研修も可能です（個人により異なります）。

特に、3年次にサブスペシャリティ研修（浜松医科大学病院）を選択した専攻医は、大学病院で6か月間、地域医療密着型病院での研修を6か月間行います。

7 問い合わせ先

浜松医療センター 経営管理課 事業管理係 澤柳（直通：053-451-2703）